

■ 残置影響評価モデル(耐震)における頂版鉄筋コンクリートの評価方法について(#581(3-34p))

- ・鋼管杭との間の支間長の効果を考慮して残置影響評価モデルの照査値を換算する。
- ・換算係数は、杭頭の鉛直力のみを考慮して保守的に設定する。

本来は、 $M+QL$ として支間長 L の効果を算定すべきであるが、簡略化かつ保守側の評価とするため鉛直力 Q のみを考慮した固定端モーメントに対して支間長の影響を直接的に反映する。

